ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

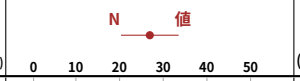
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	B-5	調査位置				北　緯	36 ° 44 ’ 5.4000 ”
発注機関	栃木県　矢板土木事務所			調査期間	2008-10-20 ～ 2008-10-20	東　経	139 ° 58 ’ 25.9200 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	163.06 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	
総掘進長	5.00 m							試錐機		ハンマー落下用具	
								エンジン		ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	162.56	0.50	0.50		表土 (SF)	暗茶灰			シルト系土を主材料とする盛土であり、砂分及び礫分を不均質に混入する。		10/20 1.40
1					砂質火山灰土 (VAS)	淡茶灰			川崎層群，館ノ川凝灰岩層と呼ばれる火山性の半固結地盤である。		
						青灰			軽石質火山灰土を主体に砂分及びφ5～10mmの風化礫を含む。		
2									軽石は白色化し、土壌化している。		
3						淡茶灰			GL-4m付近、砂分の含有頻度が上昇し、固結度合いもやや高まる。		
4											
5	157.61	4.95	5.45								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	3	4	4	11／30	11
1.45					
2.15	4	5	6	15／30	15
2.45					
3.15	4	6	9	19／30	19
3.45					
4.15	6	9	11	26／30	26
4.45					
5.15	7	9	7	23／30	23
5.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						10/20